市民セミナリヨ

核兵器禁止条約発効記念

紙芝居で見る長崎原爆

被爆者小崎登明と末永浩の願い~

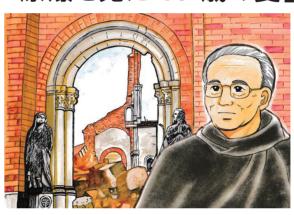
 $2021 \, 1/24 \, \oplus 13:30 \, \sim 14:30$

会場/浦上キリシタン資料館

末永 浩さんの証言 「私と家族の原爆被爆」



小崎登明さんの証言 「原爆を見た 17 歳の夏」



「浦上は焼けてしまって何もない原子野となり、ただ一本の白い道だけが真夏の強い 日差しの中に通っていました」(末永さんの紙芝居より)

「平和の原点は、人の痛みがわかる心を持つことです」(小崎さんの紙芝居より) いま、被爆者の声にあらためて耳を傾けてみませんか。核兵器ゼロの未来を共に 目指していくために。

語り手 西岡由香(にしおか ゆか)

漫画家。1999年「ピースボート」地球一周の旅をきっかけに平和活動を始める。2008年、長崎原爆をテーマとした『夏の残像ナガサキの八月九日』を発表。2015年、「被爆マリアの祈り一漫画で読む三人の被爆証言」で平和・協同ジャーナリスト基金賞特別賞を受賞。著書「愛のひとド・ロ神父の生涯」、「愛のまち 漫画で読む長崎キリシタン史」、絵本「パパ様と長崎」(長崎文献社)など。

●主催: / / / / アジェンダNOVAながさき

参加費 500 円 高校生以下無料 【定員 20 名(先着順)】

http://www.feature.jp/agenda/

●申し込み:浦上キリシタン資料館(長崎市平和町 11-19)

(電話 /FAX 095-807-5646・メール urakamicm@mxa.cncm.ne.jp) 宛に氏名・連絡先をご連絡ください。

●問い合わせ:林田 (090-7923-7435) (新型コロナ対策のため、入場時に検温させて